MASPRO

BL型 直列ユニット・テレビ端子

VU・BS・CS & TWO-WAY WALL OUTLETS

伝送周波数帯域 10～2150MHz

上り信号カット機能付き

壁面埋込・接栓型

優良住宅部品
テレビ共同受信機器

取扱説明書
施工説明書

DIGITAL ディジタル放送対応

このマークは，各種のディジタル放送を，より高画質で見るために，妨害電波の影響を受けにくい，高いシールド性能を備えた機器にマスプロ電工が表示している，信頼のマークです。

直列ユニット（3個口用）

CS-7F-7S （1端子接栓型・中間用）

CS-7F-RS （1端子接栓型・端末用）

CS-77F-7S （2端子接栓型・中間用）

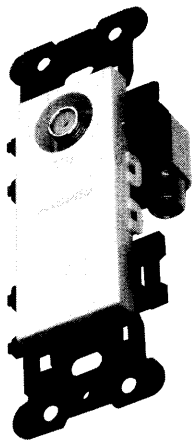
CS-77F-RS （2端子接栓型・端末用）

テレビ端子

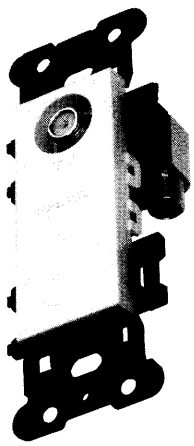
CS-7FS(1) （1端子接栓型・1個口用）

CS-7FS(3) （1端子接栓型・3個口用）

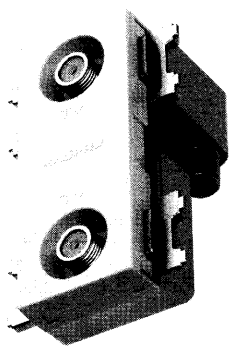
CS-77FS （2端子接栓型・3個口用）



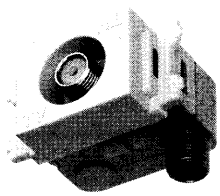
CS-7F-7S



CS-7F-RS
CS-7FS(3)



CS-77F-7S
CS-77F-RS
CS-77FS



CS-7FS(1)

目次

ページ

取扱説明
- 特長 ……2
- 各部の名称・上り信号カットスイッチの操作 …2
- 規格表 ……2

施工説明
- 取付方法 ……3
- 75Ωケーブルの引出寸法 ……3
- 付属品 ……3
- F型コネクター(C15FP5)の取付方法 ……4

保証について
- 無償修理規定 ……4

ＢＬ部品とは

(財)ベターリビングが優良住宅部品認定制度によって，品質，性能，アフターサービスなどに優れた住宅部品を厳重な審査に基づき認定した住宅部品です。さらに保証責任保険と賠償責任保険が制度化されていますので，安心してご利用できます。

●ご使用の前に，この「取扱説明書・施工説明書」をよくお読みください。
●お読みになったあとは，保存してください。

マルチメディアの
MASPRO
=マスプロ電工=

MASter of PROduction
生産の覇者

取扱説明

特長

上り信号をカット可能

上り帯域（10～55MHz）カットフィルタースイッチの操作だけで，簡単に片方向化できますから，双方向で使用しない直列ユニットからの上り信号の雑音を，TV端子ごとに抑えることができます。

優れた電磁波妨害(EMI)遮へい効果

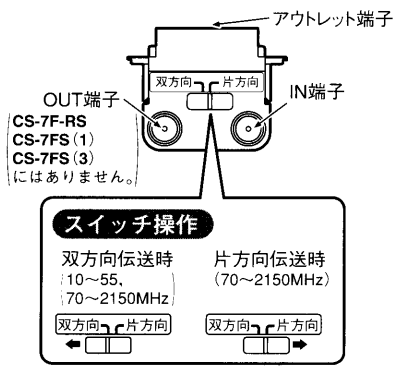
F型端子とハウジングを一体化した亜鉛ダイカストケースを使用して，フタを圧入装着するマスプロ独自の方法ですから，密閉構造に優れ，シールド効果は抜群です。強電界地域の高層マンションなど，飛込み電波による妨害（前ゴースト）やBS・CS放送受信時の携帯電話やPHSによる妨害対策に最適です。

各部の名称・上り信号カットスイッチの操作

●双方向伝送のシステムで使用する場合，上り信号カットスイッチを「双方向」にしてください。
●出荷時は，「片方向」にセットしてあります。

IN端子，OUT端子，アウトレット端子はF型コネクターです。

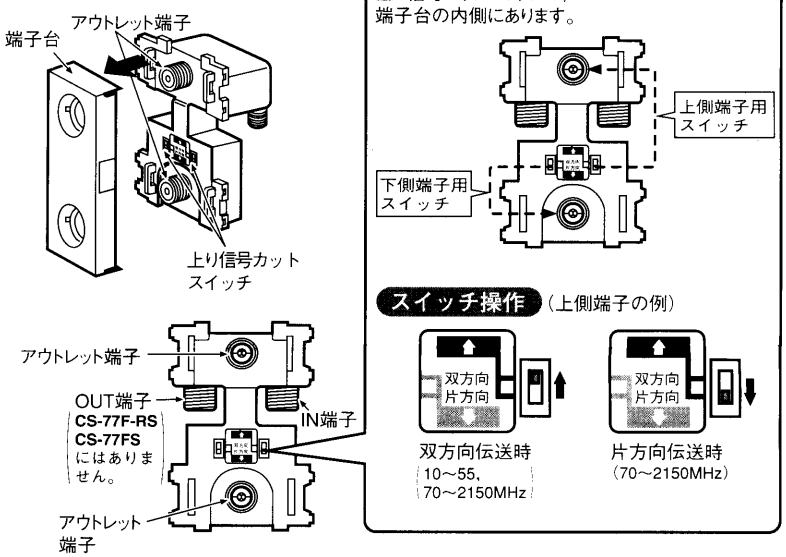
CS-7F-7S, CS-7F-RS, CS-7FS(1), CS-7FS(3)



ご注意
上り信号カットスイッチは，選択する方向へ，止まるまでスライドさせて，確実に切換えてください。

CS-77F-7S, CS-77F-RS, CS-77FS

端子台は，矢印の方向に外してください。
スイッチの操作後は，端子台を元の位置に取付けてください。



規格表

ご注意 全端子電流カット型です。

種別	型式	インピーダンス(Ω) IN	OUT	アウトレット	アウトレット数	周波数帯域(MHz)	挿入損失(dB以下) 双方向	片方向	結合損失(dB以下) 双方向	片方向	逆結合損失(dB以上) 双方向	片方向	端子間結合損失(dB以上) 双方向	片方向	電圧定在波比(以下) 双方向	片方向	シンボル
中間用	CS-7F-7S	75			1	10～ 55	1.8	1.8	12	40以上	15	15	—		2.0	2.0	
						70～ 300				14	25	25					
						300～ 770	2.5	2.5		13	20	20					
						1000～1336	3.0	3.0	13	14	18	18					
						1336～2150	3.5	3.5	15	16	15	15			2.5	2.5	
端末用	CS-7F-RS	75	—	75	1	10～ 55	—		9	40以上	—		—		2.0	2.0	R
						70～ 300				11							
						300～ 770				10							
						1000～1336			10	11							
						1336～2150			11	12					2.5	2.5	
中間用	CS-77F-7S	75			2	10～ 55	1.8	1.8	15	40以上	15	15	13	13	2.0	2.0	
						70～ 300			17		25	25	20	20			
						300～ 770	2.0	2.0	16		20	20	18	18			
						1000～1336	2.5	2.5	18	19	18	18	15	15			
						1336～2150	3.5	3.5	19	20	15	15			2.5	2.5	
端末用	CS-77F-RS	75	—	75	2	10～ 55	—		13	40以上	—		13	13	2.0	2.0	R
						70～ 300				15			20	20			
						300～ 770				14			18	18			
						1000～1336			15	16			15	15			
						1336～2150			16	17					2.5	2.5	
テレビ端子(1個口用)	CS-7FS(1)	75	—	75	1	10～ 55	1.0	40以上	—		—		—		2.0	—	
						70～ 300		3.0								2.0	
						300～ 770		2.0									
						1000～1336	1.5	2.5									
						1336～2150	2.0	3.0							2.5	2.5	
テレビ端子(3個口用)	CS-7FS(3)	75	—	75	1	10～ 55	1.0	40以上	—		—		—		2.0	—	
						70～ 300		3.0								2.0	
						300～ 770		2.0									
						1000～1336	1.5	2.5									
						1336～2150	2.0	3.0							2.5	2.5	
テレビ端子(3個口用)	CS-77FS	75	—	75	2	10～ 55	5.0	40以上	—		—		13	13	2.0	—	
						70～ 300		7.0					20	20		2.0	
						300～ 770	6.0						18	18			
						1000～1336	7.0	8.0					15	15			
						1336～2150	8.0	9.0							2.5	2.5	

施工説明

●関連法規

テレビ共同受信システム工事には，下記の法律が適用されます。

●有線電気通信法　●有線テレビジョン放送法

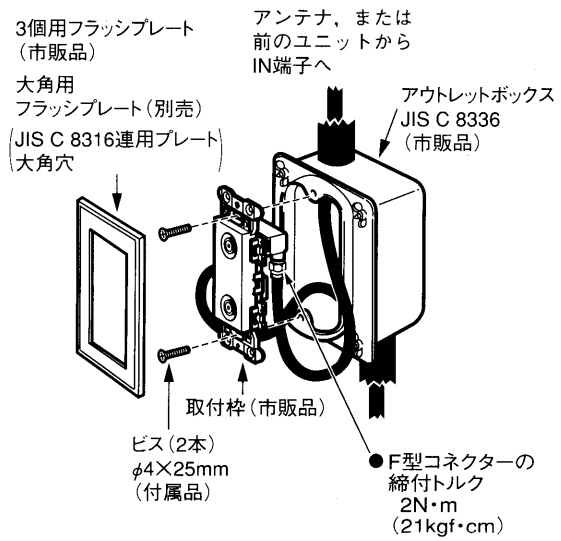
取付方法

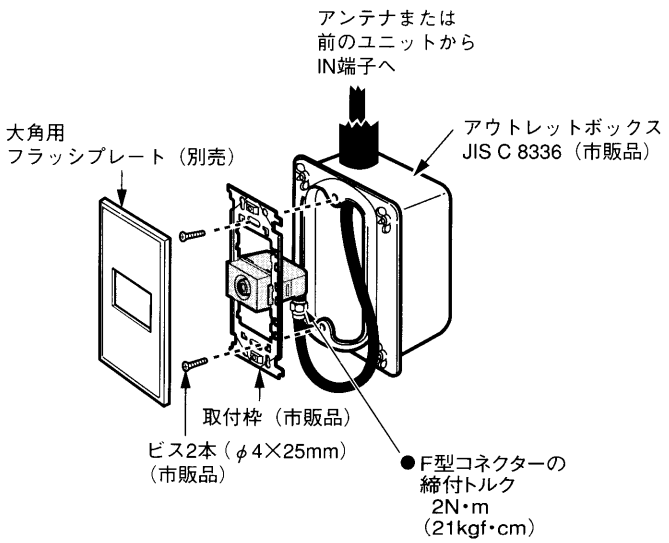
IN・OUTを間違えないように接続してください。

BS・CS受信時のご注意

BS・CS放送を受信する場合，BS・CS帯域で性能が保証されている75Ωケーブル，コネクター，アンテナプラグを使用してください。

アウトレットボックス



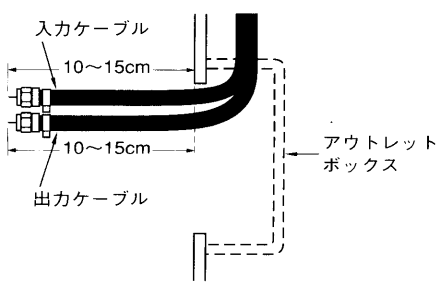


アウトレット端子への接続

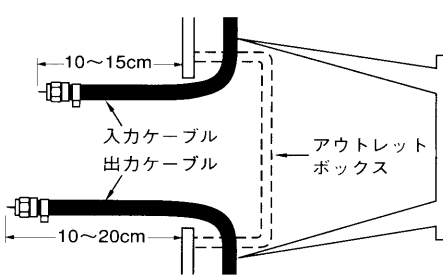
アウトレット端子には別売のアンテナプラグ（**AP5C**, **AP4C**）
またはF型コネクター（**FP5**, **FP4**）を使用してください。

75Ωケーブルの引出し寸法

入・出力ケーブルとも
上から引出すとき



入力ケーブルを上から，出力
ケーブルを下から引出すとき



ご注意

壁面の引出口付近で75Ωケーブルをケーブルステップルなどで止めないでください。ケーブルが自由に動かせなくなり，直列ユニットが取付けられなくなることがあります。

付属品

（**CS-7FS(1)**には，付属していません）

ビスφ4×25mm　…… 2本

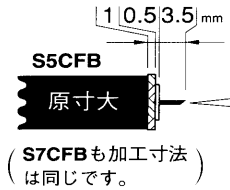
F型コネクター(C15FP5)の取付方法

●接触不良や，ショートを防ぐため，F型コネクターはていねいに取付けてください。
●F型コネクターは，使用するケーブルに適合する別売のC15形コネクター**C15FP5**または**C15FP7**を使用してください。

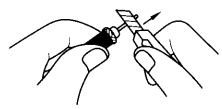
⚠注意

カッターナイフやニッパーなどを使用するときは，けがをしないよう充分注意してください。
また，芯線やあみ線(銅編組)が指などに突き刺さらないように注意してください。

①ケーブルの加工

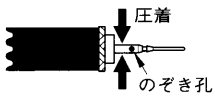


(**S7CFB**も加工寸法は同じです。)



芯線には白い膜が付いています。導通を良くするために，必ず取除いてください。

②のぞき孔から芯線が見えることを確認してから，圧着ペンチでコンタクトピンの根元を圧着してください。

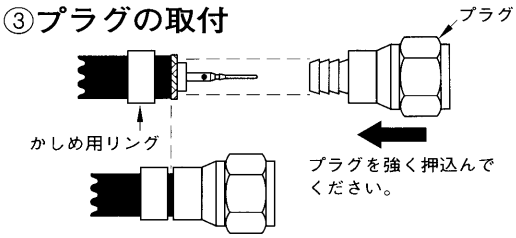


コンタクトピンを前後に動かして，しっかり圧着されていることを確認してください。

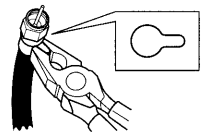
ご注意

- **必ず，専用の圧着ペンチを使用してください。**
- **圧着ペンチの2mmの穴径を使用して圧着してください。**

③プラグの取付



④かしめ用リングの圧着



F型コネクターの締付トルク
2N·m
(21kgf·cm)

保証について

無償修理規定

保証期間内に取扱説明書・施工説明書記載事項にしたがった正常な使用状態で故障した場合，当社支店・営業所までお申付けください。
この製品の保証期間は，お引渡しの日から5年間とします。

保証期間内でも下記の場合，有償修理となります。

① 日本国以外で使用した場合の不具合。
② 住宅用途以外で使用した場合の不具合。
③ ユーザーが適切な使用，維持管理をおこなわなかったことに起因する不具合。
④ メーカーが定める施工説明書に基づかない施工，専門業者以外による移動・分解などに起因する不具合。
⑤ 建築躯体の変更など，住宅部品本体以外の不具合に起因する当該住宅部品の不具合，塗装の色あせなどの経年変化，または，使用にともなう磨耗などにより生じる外観上の現象。
⑥ 海岸付近，温泉地などの地域における腐食性の空気環境に起因する不具合。
⑦ ねずみ，昆虫などの動物の行為に起因する不具合。
⑧ 火災・爆発事故，落雷・地震・噴火・洪水・津波などの天変地異または戦争・暴動など破壊行為による不具合。
⑨ 消耗部品の消耗に起因する不具合。
⑩ 電気の供給トラブルなどに起因する不具合。
⑪ 瑕疵に起因して住宅部品その他の財物の使用ができなくなったことによって生じた不具合。

マルチメディアの
＝マスプロ電工＝

本社〒470-0194(本社専用番号) 愛知県日進市浅田町
営業部 TEL名古屋(052)802−2244
工事営業部 〃 (052)802−2225
技術相談 〃 (052)805−3366
インターネットホームページ www.maspro.co.jp

支店・営業所
沖縄 (098) 854-2768
鹿児島 (099) 812-1200
宮崎 (0985) 25-3877
熊本 (096) 381-7626
長崎 (095) 864-6001
福岡(支) (092) 531-3861
北九州 (093) 941-4026
下関 (0832) 55-1130
徳山 (0834) 32-2954
広島 (082) 230-2351
松江 (0852) 21-5341
岡山 (086) 252-5800
松山 (089) 973-5656
高知 (088) 882-0991
高松 (087) 865-3666
姫路 (0792) 34-6669
神戸 (078) 843-3200
大阪(支) (06) 6635-2222
工事営業部 (06) 6632-1144
京都 (075) 646-3800
津 (059) 234-0261
岐阜 (058) 275-0805
名古屋(支) (052) 802-2233
工事営業部 (052) 804-6262
豊橋 (0532) 33-1500
静岡 (054) 283-2220
松本 (0263) 57-4625
福井 (0776) 23-8153
金沢 (076) 249-5301
新潟 (025) 287-3155
横浜 (045) 784-1422
渋谷(支) (03) 3409-5505
工事営業部 (03) 3499-5631
秋葉原 (03) 3255-7335
青戸 (03) 3695-1811
八王子 (0426) 37-1699
千葉 (043) 232-5335
さいたま (048) 663-8000
前橋 (027) 263-3767
水戸 (029) 248-3870
宇都宮 (028) 660-5008
郡山 (024) 952-0095
仙台 (022) 786-5060
盛岡 (019) 641-1681
秋田 (018) 862-7523
青森 (017) 742-4227
函館 (0138) 53-7355
札幌 (011) 782-0711
釧路 (0154) 23-8466
旭川 (0166) 25-3111
北見 (0157) 61-0480

SEP., 2002

MASter of PROduction
生産の覇者

2K55-386
B-29-4386-1L